

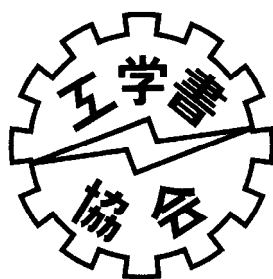
工学書協会 70 年史

(60 年史追録版)

工学書協会

工学書協会 70 年史

(60 年史追録版)



工学書協会

ごあいさつ

工学書協会幹事長 村上和夫

2018（平成30）年12月10日、工学書協会は70周年を迎えました。

これもひとえに、工学書協会発足当初より今日まで活動を支えていただいております会員各社様をはじめ、常日頃よりご協力をいただいております販売会社様、書店様の皆様のお力添えの賜物と心より厚く御礼申し上げます。

70周年にあたりまして、60年史以降の10年史を作成いたしましたので、ご高覧いただけますと幸甚でございます。

工学書協会の前身は1937（昭和12）年に、理工学書出版社21社の発行物1061点を分類掲載したB6判28ページの工学書目録を発刊した活動によるものでした。以降、1943（昭和18）年まで毎年、目録刊行が続けられました。が戦争により活動の中止を余儀なくされました。そして、戦後の1948（昭和23）年12月10日に新たためて工学書協会が設立されました。

工学書協会はこのような中で、「常備特約店制度」、「工学書協会特選セット」、「工学書目録」、「理工学図書新刊ニュース」、「棚構成ガイド」、「書店研修」などを通じ、一貫してわが国の理工学書の普及および販売の活性化に努めてまいりました。

設立時の1948（昭和23）年、工学書協会の初代幹事長に就任した須長文夫氏は、工学書協会の再出発にあたり、その目的を「理工学書出版社の営業担当者による懇親の場の創設とし、その懇親が目的とするものは情報の交換、不況への打開であり、故にそこは実務者の集まりであった」と語られたと記録は伝えております。

今日の出版界は、様々な課題を抱えており、デジタル化対応、出版流通など社会の変化にしっかりと対応した活動がますます求められております。工学書協会は今後も読者の求める出版物の発行に努め、販売面を中心とした活動の中で、会員の皆様と共に知恵を出し合い議論し、方策を講じながら実践に邁進し、理工学書出版社としての社会的使命を果たしていきたいと思っております。

70年史を発行するにあたり、これまでの御礼と引き続きのご協力、ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

2020年8月31日

目 次

ごあいさつ（工学書協会幹事長 村上和夫）	3
平成 21 年～平成 30 年活動記録	5
歴代表者・例会出席者名簿	46
工学書協会会則	48
会員社紹介	50



平成 21 年～平成 30 年活動記録

* 会場は、特記なき場合は以下の通り。

2012年1月19日までは共立会館8階の工学書協会会議室。

2012年1月20日以降はオームビル1階事務所もしくは9階オーム社会議室。

2015年5月20日以降はオームビル8階事務所もしくは9階オーム社会議室。

2018年12月15日以降は、神保町101ビル3階会議室。

* 会合の出席者数は、資料により差異があり、いずれかの資料の数値を採用した。

また、資料で確認できない場合は省略した。

* 常備店数は資料のまま。常備店選定会議後に変更となる場合などがあり、資料により差異がある。

* 例会その他の会合では、委員会報告等定例の報告があるが、誌面の都合上、新規事項を中心に採録した。

* 各委員会の開催記録は、特別の決定事項がある場合を除き省略した。



平成 21 年 (2009 年)

1 月

- 幹事会 (15 日)
- 例会 (15 日)
 - ・フタバ図書が来会。新規店の案内があった
 - ・7 委員会から 5 委員会とする。第一・第二販売委員会は変更なく、第三販売委員会を研修委員会とする。第四販売委員会と HP 準備委員会を総務委員会に統合する。目録・広報委員会も現状のままとし総会で承認を得る
 - ・幹事選挙の結果、以下の 5 名が選出
櫛田氏 (オーム社)、岩下氏 (共立出版)、高城氏 (工業調査会)、吉田氏 (東京大学出版会)、二村氏 (丸善出版事業部)
 - ・新幹事団の推薦により、南條社長 (共立出版、再任) に幹事長就任を要請
 - ・南條幹事長より、飯塚社長 (産業図書) に副幹事長を要請
- 新年懇親会 (茗溪会館 / 15 日)
- 「工学書目録 (2009 年版)」刊行
- 例会出席者変更 (海文堂出版: 小坂啓之氏より當山臣人氏へ、井上書院: 渡辺孝一氏より大橋俊彦氏へ、彰国社: 望月達夫氏より下出雅徳氏へ、裳華房: 吉野和浩氏より國分利幸氏へ、日刊工業新聞社: 玉村秀男氏より山野辺洋一氏へ、日科技連出版社: 真鍋智哉氏より佐々木鉄郎氏へ)
- 代理出席者変更 (海文堂出版: 當山氏より小坂氏へ、井上書院: 大橋氏より渡辺氏へ、彰国社: 小島氏より都築氏へ、日刊工業新聞社: 関根氏より玉村氏へ、日科技連出版社: 塚本氏より染谷氏へ)

2 月

- 会計監査 (3 日)
- 幹事会 (3 日)
 - ・従来は、各委員会の委員長・副委員長は幹事の中から選んでいたが、今期からは、それぞれの委員会の中で副委員長を選んで運営する
- 例会 (日本出版クラブ会館 / 10 日)
- 定例総会 (出席者: 25 名) (日本出版クラブ会館 / 10 日)
 - ・平成 20 年度決算報告・会計監査報告
 - ・新幹事の発表と承認
 - ・幹事長、会計監事の選出と承認
 - ・各委員会委員長の発表
第一販売委員会: 委員長櫛田氏 (オーム社)
第二販売委員会: 委員長岩下氏 (共立出版)

目録広報委員会：委員長吉田氏（東京大学出版会）

研修委員会：委員長高城氏（工業調査会）

総務委員会：委員長二村氏（丸善出版事業部）

- ・平成 21 年度予算案の報告および承認
- ・懇親会

3 月

●幹事会（11 日）

- ・書店研修会：7 月 17 日、18 日の一泊二日で大阪・京都・神戸地区を訪問予定で了承

●例会（11 日）

- ・工学書協会 60 年史が出来上がり、代表者に各 2 部送付

●新規常備店販売会社説明会（27 日）

●「工学書協会 60 年史」完成

●例会出席者変更（産業図書：奈良香治氏より飯塚尚彦氏へ）

4 月

●幹事会（10 日）

●例会（日本出版クラブ会館／15 日）

●常備店選定会議（日本出版クラブ会館／15 日）

- ・常備店 367 店、前年より 7 店減少

- ・懇親会

●「工学書目録（2010 年版）」編集会議（日販本社／17 日）

●工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者 13 名、日販 7 名、計 20 名）（銀座・香家／30 日）

●代表者変更（市ヶ谷出版：宇野修蔵氏より沢崎明治氏へ）

5 月

●幹事会（8 日）

- ・目録編集委員会報告：掲載点数のマイナスが収入源の主要原因。目録刊行会で掲載点数・社数を増やす施策を検討中

●例会（8 日）

●例会出席者変更（省エネルギーセンター：山川三世氏より有働紳也氏へ）

6 月

●幹事会（10 日）

- ・大阪地区の書店地図に変化あり阿倍野地区の再開発が、近隣書店への影響がある
- ・特選セット実績報告、昨年比 94.77%、下降に若干歯止め

●例会（10 日）

7月

- 幹事会（7日）
- 例会（7日）
 - ・特選セット各販売会社搬入
 - ・目録制作経費削減、模索報告
- 関西書店研修（17日～18日）
 - ・参加者：協会関係者20名、販売会社他7名、計27名
 - ・大阪・京都・神戸地区を4グループに分け書店訪問
 - ・懇親会：ホテル・グランヴィア大阪
- 「全国常備店名簿 2009年版」完成。
- 代表者変更（コロナ社：牛来辰巳氏より牛来真也氏へ）

8月

- 中間会計監査（7日）

9月

- 幹事会（10日）
- 例会（10日）
 - ・関西書店研修報告

10月

- 幹事会（9日）
 - ・目録収入が減少、収入確保のため経費削減を推進
- 例会（9日）
- 代表者会（出席者：22名）（銀座・治作／29日）

11月

- 幹事会（11日）
- 例会（11日）
 - ・ジュンク堂書店池袋本店・矢寺氏および大阪屋の秋山氏・鎌垣氏が来会、ジュンク堂書店名古屋ロフト店の増床にともなう出品の依頼および趣旨説明あり
- 特選セット感謝の会（出席者：協会関係者6名、販売会社6名、計12名）（銀座・香家／26日）

12月

- 幹事会（4日）
- 例会（4日）

- 忘年懇親会（出席者：47名）（明治記念館・花かすみ／4日）
- 幹事ミーティング（22日）
- 退会（日科技連出版社）



代表者会（平成21年）



書店研修（平成21年）関西地方

平成 22 年 (2010 年)

1 月

- 幹事会 (14 日)
 - ・ 22 年度予算案議論
- 例会 (14 日)
 - ・ 常備店名簿の変更について意見交換
- 新年懇親会 (出席者：協会関係者 24 名、販売会社 13 名、計 37 名) (茗溪会館/14 日)
- 「工学書目録 (2010 年版)」刊行

2 月

- 会計監査 (3 日)
- 幹事ミーティング (4 日)
- 幹事会 (4 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館/12 日)
 - ・ 協会ホームページの改良を計画している。会員社の紹介がなかったため掲載することになった
- 定例総会 (出席者：17 名) (日本出版クラブ会館/12 日)
 - ・ 平成 21 年度決算報告・会計監査報告
 - ・ 会計監事交代の報告および承認
後藤武監事 (彰国社) にかわり植村八潮氏 (東京電機大学出版局) が就任
 - ・ 平成 22 年度予算案の報告および承認
 - ・ 懇親会

3 月

- 幹事会 (11 日)
- 例会 (11 日)
 - ・ 日販の森住課長、渡邊係長が来会、大学生協の教科書返品を所沢の出版共同経由に随時移行することについて説明
- 研修会 (11 日)
 - テーマ：「アメリカにおける電子出版の現状」
 - 講師：中央印刷 日岐社長
- 新規常備店販売会社説明会 (17 日)

4 月

- 幹事会 (9 日)
 - ・ 東京電機大学出版局植村局長の講演会について検討

- 例会（日本出版クラブ会館／16日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／16日）
 - ・常備店 375 店、前年より 10 店増加
 - ・懇親会
- 「工学書目録（2011 年版）」編集会議（日販本社／21 日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者 12 名、日販 6 名、計 18 名）（本郷・日本料理 宮本／28 日）
 - ・日販・協会の双方とも、おみやげを廃止
- 代表者変更（日刊工業新聞社：渡部明浩氏より黒岡博明氏へ）
- 例会出席者変更（東京電機大学出版局：石平晋一郎氏より高橋章夫氏へ）

5 月

- 幹事会（13 日）
- 例会（13 日）
- 研修会（出席者：49 名）（茗溪会館／13 日）
 - テーマ：「電子書籍ビジネス－現状分析と出版社の課題」
 - 講師：東京電機大学出版局長 植村八潮氏
- 代表者変更（オーム社：佐藤政次氏より竹生修己氏へ）

6 月

- 幹事会（10 日）
 - ・常備店 3 店舗閉店で、372 店となる。
 - ・特選セット実績報告、昨年比 88.9%と大幅減
 - ・6 月 9 日ウェブサイトリニューアルのために、制作先の光和コンピュータ・網野氏および飯塚副幹事長同席のもと総務委員会を開催
- 例会（10 日）
 - ・日販とトップカルチャーが来会、新潟県長岡市に新規開店する蔦屋書店の出品依頼を説明
- 副幹事長就任（オーム社、竹生社長）

7 月

- 幹事会（6 日）
 - ・南条幹事長より：7 月 1 日トーハンにて電子出版の説明会に協会を代表して出席。トーハンとしても電子書籍・電子出版・デジタル化をしっかりとやっていきたい、そのためには専門書出版社の協力が必要だという趣旨であったと報告
- 例会（6 日）
 - ・常備店 2 店が閉店し、常備店数が 370 店となった
 - ・特選セット各販売会社搬入が 7 月 9 日にて完了
- 「全国常備店名簿 2010 年版」完成

- 例会出席者変更（コロナ社：森岡正晃氏より山本岳夫氏へ）
- 代理出席者変更（コロナ社：山本岳夫氏より大熊茂氏へ）

8月

- 中間会計監査（5日）
- 幹事暑気払い（渋谷・菜な／4日）
- 退会（工業調査会）

9月

- 幹事会（10日）
- 例会（10日）

10月

- 幹事会（日本出版クラブ会館／19日）
 - ・「イノベーションジャパン 2010」の協賛企画として日経産業新聞に工学書協会の広告を掲載し、会場にて目録を各20部配布
- 例会（日本出版クラブ会館／19日）
- 研修会（出席者：46名）（日本出版クラブ会館／19日）
 - テーマ：「出版会を取り巻く環境変化に関する一考察 ～電子出版を機軸として～」
 - 講師：文化通信社 星野渉氏
- 代表者会（出席者：18名）（銀座・璃宮／28日）

11月

- 幹事会（5日）
 - ・平成23年度の予算案検討
- 例会（5日）
 - ・トーハンのデジタル事業化推進室の鈴木役員および堀氏、佐藤氏、専門書グループの田沼氏の4名が来会、「トーハンサポートプラットフォームにおけるデジタルコンテンツの取り扱いについて」と題し、電子書籍について説明
- 特選セット感謝の会（出席者：11名）（東京今井屋 本店／22日）

12月

- 幹事会（3日）
 - ・11月25日に取協の60周年式典が東京ドームホテルで開催され、協会を代表して南條幹事長が出席した
 - ・事務局長より、後任への引継ぎと、来年度は週3日の勤務、給与半額の提案があり、幹事ミーティングで検討することとなる
- 例会（3日）

●忘年懇親会（KKR ホテル東京／3日）

●幹事ミーティング（17日）

●退会（井上書院）



研修会（平成 22 年）植村八潮氏



研修会（平成 22 年）星野渉氏

平成 23 年 (2011 年)

1 月

- 幹事会 (14 日)
 - ・2011 年度工学書目録の収支報告
- 例会 (14 日)
 - ・2 月から滝内事務局長の勤務が週 3 日体制となる(月・水・金)
 - ・幹事選挙の結果、以下の 5 名が選出
櫛田氏 (オーム社)、岩下氏 (共立出版)、吉田氏 (東京大学出版会)、山野辺氏 (日刊工業新聞社)、二村氏 (丸善出版事業部)
 - ・新幹事団の推薦により、竹生社長 (オーム社、新任) に幹事長就任を要請
 - ・竹生幹事長より、飯塚社長 (産業図書) に副幹事長を、南条社長 (共立出版) に相談役を要請。
- 新年懇親会 (茗溪会館/14 日)
- 「工学書目録 (2011 年版)」刊行
- 例会出席者変更 (彰国社：下出雅徳氏より原敏真氏へ)
- 代理出席者変更 (彰国社：都築康人氏より下出雅徳氏へ、海文堂出版：小坂啓之氏より渡邊元基氏へ)
- 代表者変更 (実教出版：島根正幸氏より戸塚雄弉氏へ)

2 月

- 会計監査 (3 日)
- 幹事会 (8 日)
 - ・会員社の減少により、目録収入の減収が予想されるため、会員社へ出品協力を依頼
- 例会 (日本出版クラブ会館/15 日)
 - ・本年度の書店研修は中止と決まった
 - ・特選セットは、これまで新刊を中心とした出品をお願いしていたが、既刊も対象に含めることになった
- 定例総会 (出席者：21 名) (日本出版クラブ会館/15 日)
 - ・平成 22 年度決算報告、会計監査報告
 - ・新幹事の発表および承認
 - ・各委員会委員長・副委員長の発表
第一販売委員会：委員長櫛田氏 (オーム社)、副委員長小林氏 (実教出版)
第二販売委員会：委員長岩下氏 (共立出版)、副委員長森氏 (誠文堂新光社)
研修委員会：委員長山野辺氏 (日刊工業新聞社)
目録広報委員会：委員長吉田氏 (東京大学出版会)、副委員長野口氏 (三共出版)
総務委員会：委員長二村氏 (丸善出版)、副委員長山田氏 (理工図書)
 - ・平成 23 年度予算案の報告および承認

・懇親会

●例会出席者変更（市ヶ谷出版：堀口寛氏より森元之氏へ、技報堂出版：伊藤大樹氏より佐藤大介氏へ）

●社名変更：丸善出版事業部より丸善出版へ

3月

●幹事会（10日）

・ウェブサイトの改訂についての報告

●例会（10日）

●新旧幹事懇親会（四谷・出島厨房／10日）

●新規常備店販売会社説明会（11日）

※東日本大震災発生（11日）

4月

●幹事会（8日）

・東日本大震災の影響により、常備店選定会議の時間を変更

・東北地方の書店の被害状況と支援について議論

・日本出版クラブより、東日本大震災への義援金の要請があり、10万円を寄付

・経営委員会を立ち上げ。幹事長、副幹事長、幹事団に加え、代表者数名が参加。会員増強、財政再建の2グループに分け、議論を行う

●例会（日本出版クラブ会館／15日）

・特選セット銘柄は240点。前年より13点減少

●常備店選定会議（日本出版クラブ会館／15日）

・常備店は374店、前年に比べ4店増加

・懇親会は諸般の事情に鑑みて、常備店選定会議出席者のみで開催

5月

●幹事会（12日）

・書協より東日本大震災の被害状況について報告。東北・北関東約1,500書店の半数が被災

・工学書目録刊行感謝の会を延期し、6月に陣中見舞いの形で手土産を渡す予定

・常備店名簿の見積りを3社から取り、丸井工文社に変更

・4月26日に経営委員会の幹事ミーティングを開催。書店研修会を2年に1度実施、事務所移転、会員増強のワーキンググループを設ける

・年内を目途に事務所をオームビルに移転する方針を決める

●例会（12日）

・協会運営の見直しを検討。事務局の移転および新規会員の増強について報告

●研修会（12日）

・復刊ドットコムを講師に迎え研修会を開催

- 「工学書目録（2012年版）」編集会議（日販本社／13日）
- 代表者変更（海文堂出版：岡田吉弘氏より岡田節夫氏へ）

6月

- 幹事会（10日）
 - ・特選セット実績報告、昨年比87.8%
 - ・工学書協会のウェブサイトの改訂を光和コンピュータに依頼
- 例会（10日）
 - ・経営委員会について代表者に書状を送付
 - ・今年度の工学書目録刊行感謝の会は中止とし、日販へはビール券を届ける

7月

- 幹事会（12日）
 - ・工学書目録の著者索引を、経費削減のため次年度より割愛することが決定
- 例会（12日）
 - ・日販が来会し、蔦屋書店（トップカルチャー）前橋みなみモール店の概要説明および出品の要請があった
 - ・工学書目録の製作コスト削減について説明
- 「全国常備店名簿 2011年版」完成
- 代理出席者変更（省エネルギーセンター：山川三世氏より小山田明弘氏へ）

8月

- 中間会計監査（2日）

9月

- 臨時幹事会（1日）
 - ・事務所移転の方向性を確認、作業部会の選定
- 幹事会（8日）
- 例会（8日）
 - ・協会活動の活性化を目的として経営委員会の設置について報告
- 研修会（8日）
 - ・セブンネットショッピング（丹羽氏）による研修会を開催
- 経営委員会（21日）

10月

- 幹事会（5日）
 - ・来年度の目録掲載収入が前年比170万円の減収見込み。全点掲載中止が15社あった
 - ・11月に予定していた被災書店による講演は先方の日程が合わず、来年度以降に延期

- 例会（5日）
- 代表者会（出席社：18社）（銀座・離宮／26日）
 - ・事務所移転について説明し、賛同を得る
- 第3回研修会（ワタナベ流通（新高島平）／21日）
 - ・ワタナベ流通物流倉庫見学会（参加者27名）

11月

- 幹事会（11日）
 - ・研修委員会にて、来年度は書店研修を検討。宮城県を中心とした東北地方を候補に考えている。震災復興状況の確認及び被災書店の慰労、会員社の親睦を目的とする
 - ・2012年1月に事務所移転が決定、共立会館からオームビルへ
- 例会（11日）
- 特選セット感謝の会（茗荷谷・築地日本海／11日）
- 事務所移転作業部会（29日）

12月

- 幹事会（2日）
 - ・事務所移転作業部会から日程の報告
- 例会（2日）
 - ・2012年度版の工学書目録収支概算報告。掲載料が180万円と大幅に減少したが、諸経費を押さえることで、前年比43万円増の約750万円の収入を計上することができた
- 忘年懇親会（KKRホテル東京／2日）
- 幹事ミーティング（20日）



定例総会（平成23年）

平成 24 年 (2012 年)

1 月

- 幹事会 (オーム社会議室/19 日)
 - ・20 日に事務所を共立会館からオームビル 1 階へ移転し、23 日より新しい事務所を開く
 - ・17 日に竹生幹事長、飯塚副幹事長、総務委員長が共立出版南條社長へ移転の挨拶
 - ・工学書協会ウェブサイトをリニューアル公開
- 例会 (オーム社会議室/19 日)
 - ・蔦屋書店出店開発部の児玉氏と日販書籍部の円道氏他 2 名が来会し、3 月開店のフォレオ菖蒲店および「大型店戦略について」の説明
 - ・3 年ぶりの地方研修の準備を開始
- 新年懇親会 (オーム社会議室/19 日)
- オームビル 1 階へ事務所を移転 (20 日)
- 経営委員会 (31 日)
- 「工学書目録 (2012 年版)」刊行

2 月

- 会計監査 (7 日)
- 幹事会 (14 日)
 - ・2012 年度目録決算報告。システム構築代を除外した純収入は大幅に減少
- 例会 (日本出版クラブ会館/21 日)
 - ・経済産業省、電子書籍事前説明会報告
- 定例総会 (出席者: 20 名) (日本出版クラブ会館/21 日)
 - ・平成 23 年度決算報告、会計監査報告
 - ・平成 24 年度予算案の報告および承認
 - ・懇親会
- 代表者変更 (丸善出版: 吉田明彦氏より池田和博氏へ)

3 月

- 幹事会 (9 日)
 - ・経営委員会の課題として、事務所移転が完了したが、さらに経営改革を進める必要がある
- 例会 (9 日)
 - ・丸善「Knowledge Worker」説明会。「理工学図書新刊ニュース」の掲載を提案
- 新規常備店販売会社説明会 (14 日)

4 月

- 幹事会 (6 日)

- 経営員会（19日）
- 「工学書目録（2013年版）」編集会議（日販本社／19日）
- 例会（日本出版クラブ会館／24日）
 - ・旧事務所の現状復帰費用と修繕箇所の報告
 - ・「Knowledge Worker」に「理工学図書新刊ニュース」のページを作ることが承認
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／24日）
 - ・常備店は360店、前年より13店減少
 - ・懇親会
- 例会出席者変更（東京電機大学出版局：高橋章夫氏より菊地雅之氏へ）
- 代理出席者変更（森北出版：橋本賢治氏より中村哲氏へ）
- 代表者変更（日刊工業新聞社：黒岡博明氏より奥村功氏へ、東京電機大学出版局：植村八潮氏より脇英世氏へ）

5月

- 幹事会（11日）
 - ・日販の駒村課長、平岡課長が来会し、「理工学図書新刊ニュース」の取引に関する契約書を交わしたいと申し入れがあり、若干の文言訂正の上、契約書を交わす
 - ・本年度の常備店は360店舗で決定したが、書泉グランデより辞退の申し入れがあり、359店舗
 - ・旧事務所の敷金返金についての報告
- 例会（11日）
 - ・地方研修のスケジュール確認。訪問書店は仙台4店、盛岡4店、郡山3店に決定
 - ・常備店名簿の制作部数を600部から550部へ変更
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者11名、日販6名、計17名）（本郷・宮本／28日）

6月

- 幹事会（8日）
- 例会（8日）
 - ・丸善（株）商品センターの小野氏が来会し、「理工学図書新刊ニュース」の「Knowledge Worker」掲載の御礼
 - ・特選セット実績報告、昨年比91.15%
 - ・書店研修会に合わせ、河北新報への広告が決定。全5段で掲載料は30万円

7月

- 幹事会（10日）
 - ・特選セットの販売会社搬入が無事終了した
- 例会（10日）
- 「全国常備店名簿 2012年版」完成

●書店研修会（東北地方／20～21日）

- ・参加者：協会関係者 15 名、販売会社など 7 名、計 22 名
- ・3 グループに分かれ、仙台・盛岡・郡山の書店を訪問
- ・懇親会：ホテルモントレ仙台

●休会（アグネ承風社：12月まで）

8月

●中間会計監査（8日）

9月

●幹事会（5日）

- ・7月の地方研修会（東北地方）の報告

●例会（5日）

- ・東北地方書店研修会の収支報告

10月

●幹事会（4日）

●例会（4日）

- ・日経産業新聞「イノベーションジャパン 2012」企画に広告を掲載

●特選セット感謝の会（出席者：協会関係者 5 名、販売会社 6 名、計 11 名）（茗荷谷・築地日本海／5日）

●代表者会（銀座・璃宮／23日）

●例会出席者変更（森北出版：遠藤一良氏より中村哲氏へ）

●代理出席者変更（森北出版：中村哲氏より上地哲也氏へ）

11月

●幹事会（9日）

- ・新規会員獲得を視野に入れ、経営企画委員会を新設。幹事長、副幹事長、例会出席者を兼ねた代表者 3 名が所属する

●例会（9日）

●例会出席者変更（技報堂出版：佐藤大介氏より長範彦氏へ）

●代理出席者変更（技報堂出版：長範彦氏より佐藤大介氏へ、誠文堂新光社：佐塚勝之氏より山本健氏へ）

12月

●幹事会（7日）

- ・事務局の後任を伊藤一恵さんに決定。平成 25 年 1 月 7 日より勤務開始

- 例会（7日）
 - ・2013年度の工学書目録が6分冊に変更
- 忘年懇親会（KKR ホテル東京／7日）
- 退会（アグネ承風社）



常備店選定会議（平成24年）

平成 25 年 (2013 年)

1 月

- 幹事会 (21 日)
- 例会 (21 日)
 - ・日販及び CCC の担当者が来会し、蔦屋書店仙台泉店の出店案内があった
 - ・幹事選挙の結果、以下の 5 名が選出
櫛田氏 (オーム社)、加藤氏 (共立出版)、吉田氏 (東大出版会)、山野辺氏 (日刊工業新聞社)、二村氏 (丸善出版)
 - ・新幹事団の推薦により、竹生社長 (オーム社、再任) に幹事長就任を要請
 - ・竹生幹事長より、飯塚社長 (産業図書) に副幹事長、南條社長 (共立出版) に相談役を要請
 - ・推薦幹事として長氏 (技報堂出版)、小林氏 (実教出版) が就任
- 新年懇親会 (オーム社 B1F セミナールーム / 21 日)
- 「工学書目録 (2013 年版)」刊行
- 例会出席者変更 (共立出版: 岩下孝男氏から加藤敏博氏へ、彰国社: 原敏正氏から鈴木洋美氏へ)
- 代理出席者変更 (共立出版: 加藤敏博氏から木村邦光氏へ)

2 月

- 幹事会 (14 日)
 - ・検討店の基準を 8 社 1000 冊以下より 8 社 800 冊以下に変更した
 - ・総務委員会人員減に伴い、特選セット名簿作成を第二販売委員会に移管する
- 例会 (日本出版クラブ会館 / 21 日)
 - ・太洋社への対応は幹事会に一任
- 定例総会 (出席者: 20 名) (日本出版クラブ会館 / 21 日)
 - ・平成 24 年度決算報告・会計監査報告
 - ・幹事と会計監事の選出と承認
 - ・各委員会委員長・副委員長の発表
第一販売委員会: 委員長櫛田氏 (オーム社)、副委員長國分氏 (裳華房)
第二販売委員会: 委員長加藤氏 (共立出版)、副委員長當山氏 (海文堂出版)
目録広報委員会: 委員長吉田氏 (東京大学出版会)、副委員長野口氏 (三共出版)
研修委員会: 委員長山野辺氏 (日刊工業新聞社)
総務委員会: 委員長二村氏 (丸善出版)、副委員長山田氏 (理工図書)
 - ・平成 25 年度予算案の報告および承認
 - ・懇親会

3月

- 幹事会（8日）
- 例会（8日）
- 販売会社各社に「特選セット」の説明を行った（11日）
- 新規常備店販売会社説明会（13日）

4月

- 幹事会（11日）
- 例会（日本出版クラブ会館／22日）
 - ・常備店 351 店。前年度より 9 店減少
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／22日）
- 「工学書目録（2014年版）」編集会議（日販本社／24日）

5月

- 幹事会（10日）
 - ・Web版の目録について調査を開始する
- 例会（10日）
 - ・太洋社の加藤専務、坂部長が来会され、太洋社に関する風評についておよび今後の方針などについて説明があった
- 新旧幹事による事務局長の慰労会（SANKOEN／10日）
- 工学書目録刊行感謝の会（本郷・宮本／22日）
- 例会出席者変更（東京電機大学出版局：菊地雅之氏より木場将彦氏へ）

6月

- 幹事会（11日）
- 例会（11日）
 - ・特選セット実績報告、昨年比 104.44%
 - ・工学書目録を各 350 円とする方向だったが、目録刊行会との協議で各 330 円に決定した
- ミニ書店研修（参加者：21名）（26日）
 - ・蔦屋ひたちなか店、日立アプライアンス多賀事業所訪問
- 例会出席者変更（東京電機大学出版局：木場将彦氏から高橋章夫氏へ）
- 代表者変更（東京大学出版会：山口雅巳氏から黒田拓也氏へ）
- 退会（森北出版）

7月

- 幹事会（9日）
- 例会（9日）
 - ・書店ブックフェア開催について全員一致で賛成された

全員所属の委員会とし、例会時に話し合いを行う。委員長、副委員長の人選は幹事会に一任する

- 「全国常備店名簿 2013 年版」完成

8 月

- 中間会計監査（6 日）
- 幹事暑気払い（かぐら坂・志満金／6 日）

9 月

- 幹事会（5 日）
 - ・日経産業新聞のイノベーションジャパンに関連した無料広告を出稿した
- 例会（5 日）
 - ・ブックフェア委員会の委員長は長氏（技報堂出版）にお願いすることになった

10 月

- 幹事会（3 日）
- 例会（3 日）
 - ・工学書目録の消費税表記は、本体価格のみとし、欄外に「価格表示は本体価格」を付記する。ただし、雑誌については、税制専門委員会の指針に従い、定価表記とする。欄外には「定価は消費税 5%を含みます」（消費税率変更後は価格が変わります）を付記する
 - ・メーリングリストを導入する
 - ・丸善丸の内本店で工学書協会ブックフェア開催が決定。「ものづくり」がテーマ。フェア看板は協会名入りで作成
- 代表者会（出席者：14 名）（銀座・離宮／30 日）
- 代理出席者変更（実教出版：北林岳彦氏から北川千晃氏へ）

11 月

- 幹事会（8 日）
 - ・フェア委員として、當山氏（海文堂出版）、國分氏（裳華房）、山本氏（誠文堂新光社）、二村氏（丸善出版）に就任を要請
- 例会（8 日）
 - ・第一販売委員会に常備店データの管理を移管。常備店調査と集計、常備店の選定と会議の運営、そして名簿の作成までを一貫して行なうこととなった
 - ・これまで穴開きと穴なしの 2 種類の工学書目録を作成してきたが、2014 年度から穴なしのみに統一する
 - ・丸善丸の内本店フェアは、1 月 10 日頃～2 月末日となった。条件は 3 か月延勘に統一。日経産業新聞、日刊工業新聞にブックフェアの告知が掲載される
- 研修会（参加者：28 名）（オームビル B1F セミナールーム／8 日）

テーマ：「2013年の出版業界の動向&2014年の業界展望」

講師：新文化通信 丸島社長

- 特選セット感謝の会（出席者：協会関係者5名、販売会社7名、計12名）（茗荷谷 築地日本海／29日）

12月

- Web目録検討会議（5日）

- ・出席者：日販・浅羽課長、石井係長、錦明印刷・本間部長、村上課長、工学書協会・櫛田幹事、二村幹事
- ・目録と同時リリースではなく、じっくり吟味の上、進めて行くことになり、定期的に会合を持つことになった

- 幹事会（6日）

- 例会（6日）

- 忘年懇親会（KKRホテル東京／6日）

- 幹事ミーティング（17日）

- ・忘年懇親会

- 退会（パワー社、昭晃堂）



忘年懇親会（平成25年）

平成 26 年 (2014 年)

1 月

- 幹事会 (24 日)
- 例会 (24 日)
- 新年懇親会 (四季交楽「然」 / 24 日)
- 「工学書目録 (2014 年版)」刊行

2 月

- 会計監査 (12 日)
- 幹事会 (19 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館 / 26 日)
 - ・理工学図書新刊ニュースは会員社に 7 掛で販売しているが、今後は無償とする
- 定例総会 (出席者: 17 名) (日本出版クラブ会館 / 26 日)
 - ・平成 25 年度決算報告、会計監査報告
 - ・平成 26 年度予算案の報告および承認
 - ・懇親会

3 月

- 幹事会 (7 日)
- 例会 (7 日)
 - ・今期は例会の議事録を持ち回りで担当する。今後、事務局の伊藤氏も例会に同席する
 - ・九州地方の書店研修に向けて準備を開始
 - ・理工学図書新刊ニュースの定価を 4 月から 20 円 + 税とする
 - ・大阪大学工学部生協と紀伊國屋書店京都産業大学ブックセンターでブックフェア開催が決定。報奨金 (売上の 5%) は工学書協会宛に請求、事務局から会員各社へ請求する
 - ・フェア用帯を 3,000 枚作成予定。A5 判および B5 判に対応したサイズで作成する
- 販売会社を訪問し「特選セット」の説明を行う (10 日)
- 新規常備店販売会社説明会 (12 日)

4 月

- 幹事会 (4 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館 / 16 日)
 - ・昨年度までは、理工学図書新刊ニュースの 6 月号にのみ工学書協会常備店ステッカーの告知を刷り込んでいたが、常備店 PR のため毎号の表紙左端に掲載する
 - ・九州書店研修にあわせたフェアは、4 店舗より快諾を得た。開催時期とテーマは、下記の通り
ジュンク堂書店福岡店 7 月 1 日～7 月 31 日 テーマ「エネルギー関連」

紀伊國屋書店福岡本店 7月1日～7月31日 テーマ「統計学」
ブックセンタークエスト小倉本店 7月1日～31日 テーマ「入門書 or 売上良好書」
紀伊國屋書店佐賀店 7月中旬～8月末 テーマ「夏休み自由研究の課題となるもの」

- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／16日）
 - ・常備店 327 店、前年から 22 店減少
 - ・懇親会
- 「工学書目録（2015 年版）」編集会議（日販本社／25 日）

5 月

- 幹事会（9 日）
 - ・日販出版宣伝課の浅羽課長が来会し、今後の工学書目録収入の見通し及び、無償化の提案があった
 - ・無償化は時期尚早であるが、掲載点数を拡大する手立てが必須であることが確認された
- 例会（9 日）
- 工学書目録刊行感謝の会（本郷・宮本／19 日）

6 月

- 幹事会（11 日）
- 例会（11 日）
 - ・特選セット実績報告、昨年比 85.16%
- 例会出席者変更（理工図書：山田久男氏から谷内宏之氏へ）
- 代理出席者変更（技報堂出版：佐藤大介氏から長滋彦氏へ）
- 退会（工学図書）

7 月

- 幹事会（14 日）
 - ・経営委員会は工学図書が退会し委員が 2 名となったため、仕切り直しとしたい
 - 例会（14 日）
 - ・目録の今後についてアンケートを実施。15 社から回答が寄せられた
 - ①目録の無償化について、賛成「7 社」、反対「2 社」（どちらかといえば反対「6 社」）
 - ②WEB への移行について、賛成「1 社」、時期尚早「2 社」、紙・WEB 並行「1 社」
 - ③その他具体的な提案
 - ・点数や広告を増やすことを優先。掲載料を検討したほうが良い「6 社」
 - ・目録を無償化して配布先を拡充し、WEB に掲載「4 社」
 - ・目録を無償化して、ユーザの実態を明らかにする「1 社」
 - ・制作コストの削減「2 社」
- 議論の結果、WEB 化、無償化を視野に入れつつ、刊行会の提案に沿って進めることが賛成多数で確認された

・オーム社の例会出席者変更による幹事欠員について、規約に基づき幹事会で検討し、春山氏に就任いただくことになった

●九州書店研修会（24日～25日）

・参加者：協会関係者17名、販売会社ほか7名、計24名

・3班に分かれて福岡・佐賀の書店を訪問

・懇親会：博多都ホテル

●「全国常備店名簿2014年版」完成

●例会出席者変更（オーム社：櫛田義則氏から春山宣夫氏へ）

8月

●中間会計監査（10日）

●幹事暑気払い（かぐら坂・志満金／10日）

9月

●幹事会（10日）

・イノベーションジャパンにあわせた新聞広告を昨年同様掲載することとした

●例会（19日）

・来期は、1月にジュンク堂書店大阪本店、丸善丸の内本店にてフェアを開催する

●例会出席者変更（東京電機大学出版局：高橋章夫氏から石平晋一郎氏へ）

10月

●幹事会（15日）

●例会（15日）

●代表者会（出席社：14社）（銀座・離宮／29日）

11月

●幹事会（10日）

●例会（10日）

●ミニ研修会（参加者20名）（19日）

・首都圏初出店のコーチャンフォー若葉台店の見学会

●特選セット感謝の会（出席者：協会関係者5名、販売会社7名、計12名）（茗荷谷・築地日本海／28日）

●退会（裳華房）

12月

●幹事会（5日）

・販売委員会、目録広報委員会、研修・総務委員会の3委員会構成を提案。販売の3委員会を統合し、経営委員会は委員会形式ではなく、幹事長が中心となり代表者を中心とした場を別

途検討する

●例会（5日）

・新文化通信社会長の丸島日出夫氏の訃報連絡があった。11月26日（水）に通夜、11月27日に告別式が行われ、協会を代表して竹生幹事長が通夜に参列した

●忘年懇親会（KKR ホテル東京／5日）

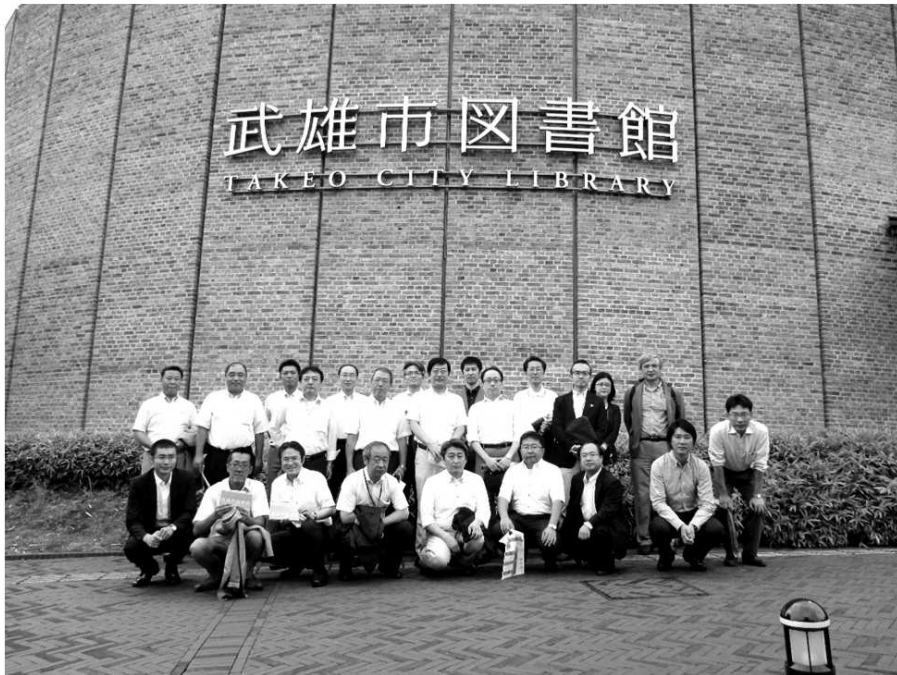
●幹事ミーティング（18日）

・忘年懇親会

●例会担当者変更（海文堂出版：當山臣人氏から渡邊元基氏へ）

●代理出席者変更（海文堂出版：渡邊元基氏から小坂啓之氏へ）

●退会（技報堂、東京大学出版会）



書店研修（平成 26 年）九州地方

平成 27 年 (2015 年)

1 月

- 幹事会 (23 日)
 - ・ 第一、第二、フェアの 3 販売委員会が統合され、販売委員会となった
 - ・ 総務委員会と研修委員会が統合され、総務・研修委員会となった
- 例会 (23 日)
 - ・ 幹事選挙の結果、以下の 5 名が選出
春山氏 (オーム社)、加藤氏 (共立出版)、北川氏 (実教出版)、山野辺氏 (日刊工業新聞社)、二村氏 (丸善出版)
 - ・ 新幹事団の推薦により、飯塚社長 (産業図書、新任) に幹事長就任を要請
 - ・ 飯塚幹事長より、村上社長 (オーム社) に副幹事長、南條社長 (共立出版) に相談役を要請
- 新年懇親会 (オーム社 B1F セミナールーム / 23 日)
- 「工学書目録 (2015 年版)」刊行
- 例会担当者変更 (省エネルギーセンター : 有働紳也氏から小山田明弘氏へ、実教出版 : 小林祥浩氏から北川千晃氏へ)
- 代理出席者変更 (実教出版 : 北川千晃氏から鎮目康晴氏へ)
- 代表者交代 (オーム社 : 竹生修己氏から村上和夫氏へ)

2 月

- 会計監査 (13 日)
- 幹事会 (18 日)
 - ・ 光和コンピュータより、Web 修正とメーリングリスト更新について、有料化の申し入れがあり、最終的に保守契約 (年間 30,000 円) の提案を受けることが了承された
- 例会 (日本出版クラブ会館 / 25 日)
- 定例総会 (出席者 : 14 名) (日本出版クラブ会館 / 25 日)
 - ・ 平成 26 年度決算報告・会計監査報告
 - ・ 新幹事団の発表
 - ・ 幹事長、会計監事の選出と承認
 - ・ 各委員会の委員長・副委員長の発表
販売委員会 : 委員長加藤氏 (共立出版)、副委員長北川氏 (実教出版)、副委員長二村氏 (丸善出版)
目録広報委員会 : 委員長山野辺氏 (日刊工業新聞社)、副委員長野口氏 (三共出版)
総務・研修委員会 : 委員長春山氏 (オーム社)、副委員長森氏 (市ヶ谷出版)
 - ・ 平成 27 年度予算案の報告および承認
 - ・ 懇親会

3月

- 幹事会（11日）
- 例会（11日）
- 販売会社対象「特選セット」説明会（16日）
- 新規常備店販売会社説明会（16日）

4月

- 幹事会（8日）
 - ・幹事会・例会を円滑に進めるため、専門委員会委員長は幹事会・例会の前々日までに報告事項・協議事項等を事務局にメール送信し、事務局はそれら議事をまとめて当日配布する。議事録は、議事の結果について簡潔に記述する。幹事会等の当日、急遽提案すべき事案が発生した場合は議事の「その他」で扱う
- 「工学書目録（2016年版）」編集会議（日販本社／10日）
- 例会（日本出版クラブ会館／13日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／13日）
 - ・常備店 321 店。前年から 6 店減少
 - ・懇親会（出席者：82名）

5月

- 幹事会（8日）
 - ・新規入会希望の株式会社カットシステム・石塚社長があいさつ。各委員長より協会活動の概要説明、ならびに質疑応答を行った
 - ・環境改善と機能向上のため、オームビル新館1階から8階へ、5/16（土）・17（日）の2日間で移転する
- 例会（8日）
 - ・株式会社リブロ／取締役営業本部長 菊地壮一氏、取締役企画・商品本部長 石川淳氏、商品部 昼間匠氏が来会。リブロ池袋本店の閉店について、今後の事業展開と池袋での新規開店等の見通し、「常備寄託」早期返品に関するお願いがあった
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：販売会社6名、協会関係者9名、計15名）（人形町・北浜総本店／13日）

6月

- 幹事会（12日）
- 例会（12日）
 - ・特選セット実績報告、昨年比 79.56%
- 新旧役員懇親会（東大前「宮本」／12日）
- ※栗田出版販売：会社更生法適用申請（26日）

7月

- 幹事会（6日）
 - ・三省堂書店池袋本店の概要説明
三省堂書店／持主常務・藤堂室長・菊池次長、トーハン／加藤マネジャー・桜井アシスタントマネジャーが来会し、概要説明。西武池袋本店の別館・書籍館にリプロの後継として、三省堂書店が出店（1000坪超）
 - ・栗田出版販売の会社更生法適用申請に際し、幹事各位から迅速な情報提供があり、協会会員社にとってメリットになった
 - ・新入会の「株式会社カットシステム」を2015年度全国常備店名簿の工学書協会会員名簿に掲載した
- 例会（6日）
 - ・2016年度の書店研修について、北陸（富山・金沢）案が最有力
- 研修会（オーム社B1Fセミナールーム／6日）
 - テーマ：「出版社にとっての営業－マーケティングとは何か－」
 - 講師：書協専務理事 中町英樹氏
- 「全国常備店名簿2015年版」完成
- 入会（カットシステム）

8月

- 中間決算監査（5日）
- 幹事暑気払（かぐら坂・志満金／11日）

9月

- 幹事会（18日）
 - ・日経産業新聞「イノベーションジャパン2015」企画へ広告出稿。会場で工学書目録を配布
- 例会（18日）

10月

- 首都圏書店研修会
 - ・理工学図書新刊ニュースや工学書目録の活用状況調査のため、会員社をグループに分け、首都圏の常備店を訪問した
- 幹事会（21日）
 - ・丸善丸の内本店とジュンク堂大阪本店のフェア開催が決定
- 例会（21日）
- 代表者会（日本出版クラブ会館／28日）
 - ・第一部 日本書籍出版協会の中町専務理事による「コーチング」をテーマとする講演会
 - ・第二部 昼食会

11 月

- 幹事会（6日）
- 例会（6日）
 - ・首都圏書店研修のアンケート集計結果は各協力書店にフィードバックするが、代表者会でも要望があったため、代表者へもフィードバックする
- ミニ研修会（参加者：25名）（26日）
 - ・デジタル・オンデマンド出版センター見学会
- 特選セット感謝の会（茗荷谷・築地日本海／27日）

12 月

- 幹事会（4日）
- 例会（4日）
- 忘年懇親会（KKR ホテル東京／4日）



常備店選定会議（平成 27 年）



工学書協会フェア（左：ジュンク堂書店大阪本店 右：丸善丸の内本店）

平成 28 年 (2016 年)

1 月

- 幹事会 (20 日)
 - ・仲田公認会計士事務所に出向き、税理士業務に係わる契約を締結
 - ・準会員制度の新設に併せて継続検討
 - ・理工学図書新刊ニュースのリニューアルについて検討
- 例会 (20 日)
- 新年懇親会 (出席者：24 名) (オーム社 B1F セミナールーム/20 日)
- 「工学書目録 (2016 年版)」刊行

2 月

- ※太洋社：自主廃業説明会を開催 (8 日)
- 会計監査 (日本出版クラブ会館/12 日)
 - ・今回の決算監査より、奥山顧問会計士に立ち会っていただく
- 幹事会 (17 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館/23 日)
- 定例総会 (出席者：14 名) (日本出版クラブ会館/23 日)
 - ・平成 27 年度決算報告・会計監査報告
 - ・平成 28 年度予算案の報告および承認
 - ・懇親会
- 研修会 (日本出版クラブ会館/29 日)
 - ・参加者：協会関係者 13 名 (全体では 101 名)
 - 「日本電子図書館サービス (JDL S) セミナー 紀伊國屋書店 高井会長講演」

3 月

- 幹事会 (9 日)
 - ・「理工学図書新刊ニュース」の印刷会社 (三和印刷) が 6 月で解散・清算するため、4 月号以降の対応について協議
- 例会 (9 日)
- 新規常備店販売会社説明会 (16 日)
 - ・「特選セット」説明会も同時開催。
- 担当者変更 (産業図書：飯塚尚彦氏より松山絵里子氏へ)
- 代理出席者変更 (産業図書：黒瀬千絵氏より飯塚尚彦氏へ)

4月

- 幹事会（5日）
- 例会（日本出版クラブ会館／13日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／13日）
 - ・常備店 319 店、前年から 2 店減少
 - ・懇親会（出席者：計 73 名）
- 「工学書目録（2017 年版）」編集会議（日販本社／25 日）
- 担当者変更（省エネルギーセンター：小山田明弘氏より細井聡氏へ）

5月

- 幹事会（11日）
 - ・「図書館総合展」運営委員会・佐藤委員長が来会。「図書館総合展」の概要説明・出展依頼、および質疑応答を行った
- 例会（11日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者 10 名、日販 6 名、計 16 名）（人形町・北浜
総本店／12 日）

6月

- 幹事会（17日）
 - ・特選セット実績報告、昨年比 88.36%
 - ・「工学書目録」の目録刊行会からの支払いは 6 月末、9 月末、11 月末の 3 回に分けていたが、2016 年度版に関しては支払い金額の減少に伴い、6 月末、11 月末の 2 回にしたいとの申し出があり、了承された
- 例会（17日）

7月

- 幹事会（6日）
 - ・中間監査は行わず、中間監査資料を作成し会計監事各位に郵送することとなった
 - ・「工学書目録」で「理工学図書新刊ニュース」のデータを活用するのに当たり、2015 年 10 月号～2016 年 5 月号の銘柄データ提供の依頼があり、原稿の元データを送付した
- 例会（6日）
 - ・北陸地区書店フェア、開催 7 書店へ商品の出荷完了。展示用パネル・工学書目録・理工学図書新刊ニュースを発送した
 - ・北國新聞にフェア告知広告を掲載（7/14）
 - ・日経産業新聞に北陸地区書店フェアの告知を無償掲載（6/29）
- 書店研修（北陸／14 日～15 日）
 - ・参加者は 23 名
 - ・石川、富山の 6 書店、富山市立図書館、富山ライトレールを訪問

- ・懇親会：金沢都ホテル（出席者：47名）
- ・工学書協会北陸地区書店フェア開催
- 「全国常備店名簿 2016年版」が完成

8月

- 幹事暑気払い（出席者：8名）（かぐら坂・志満金／9日）

9月

- 幹事会（13日）
 - ・8月の台風被害により、北海道地区の書店店頭では厳しい状況となっている
 - ・日経産業新聞「イノベーションジャパン 2016」企画に広告出稿。会場で工学書目録を配布
- 例会（13日）

10月

- 幹事会（5日）
- 例会（5日）
- 研修会「出版デジタル機構セミナー」（参加者：17名）（錦町トラッドスクエア／5日）
 - テーマ：電子出版ビジネスの現状と今後の展望
 - 講師：出版デジタル機構 代表取締役社長 新名新氏
- 代表者会（出席者13名）（日本出版クラブ会館／26日）
 - ・「委員会報告」と「紀伊國屋書店の直仕入れに関する資料」を配布

11月

- 幹事会（4日）
- 例会（4日）
 - ・2017年度の協会フェアは、年初に八重洲ブックセンター本店、ジュンク堂書店大阪本店で実施する
- 特選セット感謝の会（出席者：協会関係者4名、販売会社4名、計8名）（茗荷谷・日本海庄や／25日）

12月

- 幹事会（2日）
 - ・2018年に迎える工学書協会創立70周年事業の検討を始める
- 例会（2日）
- 忘年懇親会（出席者：31名）（KKRホテル東京／2日）
- 幹事ミーティング（16日）
 - ・忘年懇親会（神保町 柳屋）



書店研修（平成 29 年）北陸

平成 29 年 (2017 年)

1 月

- 幹事会 (18 日)
 - ・「準会員制度」については、財政的に問題がなければ無理に導入する必要はない
- 例会 (18 日)
 - ・幹事選挙の結果、以下の 4 名を選出
 - ・鴫田氏 (オーム社)、木村氏 (共立出版)、山野辺氏 (日刊工業新聞社)、二村氏 (丸善出版)
 - ・新幹事の協議により、飯塚社長 (産業図書、再任) に幹事長就任を要請
 - ・飯塚幹事長より、村上社長 (オーム社) に副幹事長、南條社長 (共立出版) に相談役、池田社長 (丸善出版)・秀島社長 (三共出版) に会計監事を要請
- 新年懇親会 (出席者: 28 名) (四季交楽「然」/18 日)
- 「工学書目録 (2017 年版)」刊行
- 例会出席者変更 (オーム社: 春山宣夫氏より鴫田幸貴氏へ、共立出版: 加藤敏博氏より木村邦光氏へ)

2 月

- 会計監査 (10 日)
- 幹事会 (15 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館/24 日)
- 定例総会 (出席者: 11 名) (日本出版クラブ会館/24 日)
 - ・平成 26 年度決算報告・会計監査報告
 - ・新幹事団の発表および承認
 - ・幹事長、会計監事の選出と承認
 - ・各委員会委員長・副委員長の発表
 - 販売委員会: 委員長二村氏 (丸善出版)、副委員長木村氏 (共立出版)、副委員長北川氏 (実教出版)
 - 目録広報委員会: 委員長鴫田氏 (オーム社)、副委員長鈴木氏 (彰国社)
 - 総務・研修委員会: 委員長山野辺氏 (日刊工業新聞社)、副委員長森氏 (市ヶ谷出版)
- ・平成 27 年度予算案の報告および承認
- ・懇親会

3 月

- 幹事会 (10 日)
- 例会 (10 日)
- 新規常備店販売会社説明会 (15 日)
 - ・「特選セット」説明会も同時開催

- 新旧幹事歓送迎会（人形町・北浜総本店／15日）

4月

- 幹事会（5日）
- 例会（日本出版クラブ会館／13日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／13日）
 - ・常備店 317店、前年より2店減少
 - ・懇親会（出席者：77名）
- 「工学書目録（2018年版）」編集会議（日販本社／28日）
- 代表者変更（東京電機大学出版局：協英世氏より田丸健一郎氏へ）

5月

- 幹事会（10日）
- 例会（10日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者9名、日販6名、計15名）（かぐら坂・志満金／10日）

6月

- 幹事会（9日）
 - ・西村書店が本年11月に移転
 - ・日本出版取次協会から一部の出版社に対し発売日分散化の要請があった
- 例会（9日）
 - ・特選セット実績報告、昨年比81.54%

7月

- 研修会（参加者：23名）（4日）
 - DNP・鶴瀬工場（POD工場）の見学
- 幹事会（12日）
- 例会（12日）
 - ・特選セットの搬入が7月上旬に完了
- 「全国常備店名簿 2017年版」が完成

8月

- 第1回経営委員会（日本出版クラブ会館／4日）
- 幹事暑気払い（かぐら坂・志満金／8日）

9月

- 幹事会（13日）

- ・トーハンより「棚分類マニュアル」改訂の打診があり、70周年記念事業の一環として来年12月を目途に改訂をすすめることとなった

- 例会（13日）

- ・2017年度特選セットの実績は、446セット、107店となった

10月

- 幹事会（13日）

- ・年内を目途に「70周年事業特別委員会」を立ち上げ、事業の概要から具体的な検討を進める
- ・「棚分類マニュアル」について、土木建築書協会、コンピュータ出版販売研究機構に協力の内諾を得た。協会創立70周年に合わせ、2018年12月までの完成を目指す。販売委員に限らず協会全体で進める形にする

- 例会（13日）

- 代表者会（出席者：10名）（日本出版クラブ会館／13日）

11月

- 特選セット感謝の会（茗荷谷・日本海庄や／2日）

- 幹事会（10日）

- 例会（10日）

- 研修会（参加者：26名）（オーム社 B1F セミナールーム／10日）

テーマ「出版業界の現状と今後」

講師：星野渉氏（文化通信社）

- ・懇親会（出席者：17名）（四川料理 秋 神保町本店）

12月

- 幹事会（1日）

- ・ジュンク堂大阪本店のフェアが、1月上旬から2月下旬開催に決定

- 例会（1日）

- 忘年懇親会（出席者：協会関係者24名、販売会社など8名、計32名）（KKRホテル東京／1日）

- 幹事ミーティング（18日）

- ・忘年懇親会（焼肉処 三幸園）



工学書協会フェア（八重洲ブックセンター）（平成 29 年）



常備店選定会議（平成 29 年）懇親会

平成 30 年 (2018 年)

1 月

- 幹事会 (19 日)
- 例会 (19 日)
 - ・「棚分類マニュアル」改訂に着手。分野ごとに、会員社を分けた分科会方式を進めることを承認。取りまとめ役は、北川販売副委員長 (実教出版) に依頼する
- 新年懇親会 (出席者: 24 名) (四季交楽「然」/19 日)
- 「工学書目録 (2018 年版)」刊行

2 月

- 会計監査 (9 日)
- 経営委員会 (9 日)
- 幹事会 (14 日)
- 例会 (14 日)
 - ・「理工学図書新刊ニュース」の表紙を 4 色から 2 色に、刷り部数を 8500 部から 7500 部に変更。
 - ・7 月開催予定の書店研修 (岡山・山陰地方) の準備を開始
- 定例総会 (出席者: 12 名) (23 日)
 - ・平成 29 年度決算報告・会計監査報告
 - ・飯塚幹事長より、創立 70 周年事業については式典を含め、将来を見据えた財政基盤整備の取り組みを開始する事業年度と位置付ける旨を表明
 - ・平成 30 年度予算案の報告および承認

3 月

- 幹事会 (12 日)
- 例会 (12 日)
- 新規常備店販売会社説明会 (14 日)
 - ・「特選セット」説明会も同時開催
- 例会出席者変更 (カットシステム: 石塚勝敏氏より小堤義夫氏へ)

4 月

- 幹事会 (6 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館/11 日)
 - ・紀伊國屋書店新宿本店フェア「春の教科書, 新入生・新人エンジニア参考書フェア」(3 月下旬より) 208 点 800 冊を陳列
 - ・三省堂書店名古屋本店フェア「愛知発理工書フェア-愛知県の著者, 愛知県ゆかりの書籍, 春の教科書-」(4 月上旬より) 計 208 点計 1040 冊を陳列

- ・ 2019 年版目録は、従来の 6 分冊から 5 分冊に変更（資格試験を他 5 分野に収載）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館／11 日）
- ・ 常備店 316 店、前年同数
- ・ 懇親会（出席者：77 名）
- 「工学書目録（2019 年版）」編集会議（日販本社／26 日）

5 月

- 幹事会（14 日）
- ・ 飯塚幹事長より、今年度実施する 70 周年事業は「記念懇親会」開催と「棚分類マニュアル」作成のみとし、「年史」編纂については来期の事業とする旨、表明があった
- 例会（14 日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者 8 名、日販 6 名、計 14 名）（学士会館／14 日）

6 月

- 幹事会（8 日）
- ・ 事務所の移転について飯塚幹事長より説明があった
- 例会（8 日）
- ・ 特選セットの受注数は前年比 88.79%
- ・ 2019 年度より、工学書目録の『情報・経営工学図書目録』を『情報・人工知能・経営工学図書目録』に名称変更

7 月

- 幹事会（4 日）
- 例会（4 日）
- ・ 書店研修にあわせて、岡山山陰地区 6 書店にて工学書フェアを開催
- ・ フェア告知を山陽新聞に全 5 段で広告掲載
- 書店研修（岡山・山陰地区／12 日～13 日）
- ・ 豪雨により目的地が被災したため、急遽中止。翌 2019 年に、岡山地区のみに規模を縮小して開催を検討
- 「全国常備店名簿 2019 年版」が完成

8 月

- 幹事残暑払い（かぐら坂・志満金／24 日）

9 月

- 幹事会（5 日）
- ・ 日経産業新聞「イノベーションジャパン 2018」企画に広告出稿。会場で工学書目録を配布
- 例会（5 日）

- ・特選セットの搬入が7月上旬に完了
- ・特選セット実績報告、396セット、94店
- ・書店研修中止に伴う諸手続について報告

10月

- 幹事会（1日）
 - ・台風の影響で中止
- 例会（1日）
 - ・スリップ廃止の議論が始まる
- 棚構成ガイド完成（1日）
 - ・12頁構成。大分類を12とし、工学書目録の5分類と関連づけた。分類ごとのキーワード一覧を収載。新たに、棚構成の例示を設けた。会員社、販売会社、常備店へ配布
- 幹事ミーティング（17日）
- 代表者会（出席者：12社）（学士会館／24日）

11月

- 特選セット感謝の会（共立出版会議室／2日）
 - ・日教販より、セット組業務辞退の申し入れがあった（次年度より新装社に変更）
 - ・販売会社からは、セット内容の見直し、書店への拡販に前向きな意思表示がされ、委員会で検討をすることになった
- 幹事会（9日）
- 例会（9日）
 - ・未来屋書店から田坂氏(商品部長)、牛久保氏(専門書担当)、石崎氏(商品部マネージャー)およびトーハン担当者が来会。専門書販売強化方針の説明
 - ・販売会社懇親ゴルフコンペの開催決定（2019年1月を予定）

12月

- 幹事会（7日）
- 例会（KKR ホテル東京／7日）
- 工学書協会 70周年記念懇親会（KKR ホテル東京／7日）
 - ・出席者：協会関係者 31名、販売会社など 18名、計 49名

挨拶	飯塚幹事長	
来賓祝辞	自然科学書協会理事長	南條光章氏
	日本出版販売	安西浩和氏
乾杯	トーハン	山下康治氏
中締め	村上副幹事長	

 - ・来賓には、「棚構成ガイド」を配布
- 事務所移転（14日）

- ・ 神保町 101 ビル 3 階（千代田区神田神保町 1-101）
- 幹事ミーティング（26 日）
- ・ 幹事忘年会（焼肉処 三幸園）



工学書協会 70周年記念懇親会

歴代代表者・例会出席者名簿

各社欄上段：代表者 下段：例会出席者／各年度2月末時の登録者

会員社欄 ※：幹事 ○：所属委員会 ●：所属委員会委員長 ◎：同副委員長

(1)：第一販売委員会 (2)：第二販売委員会 (販)：販売委員会 (研)：研修委員会 (目)：目録・広報委員会 (総)：総務委員会、総務・研修委員会
(経)：経営委員会

	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25
幹 事 長	南條 光章	南條 光章	竹生 修己	竹生 修己 (経)●	竹生 修己
副 幹 事 長	飯塚 尚彦	飯塚 尚彦	飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 (経)◎	飯塚 尚彦
相 談 役			南條 光章	南條 光章	南條 光章
会 計 監 事	後藤 武 吉田 明彦	吉田 明彦 植村 八潮	吉田 明彦 植村 八潮	秀島 功 池田 和博	秀島 功 池田 和博
ア グ ネ 承 風 社	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦
市 ケ 谷 出 版	宇野 修蔵 (1)	宇野 修蔵 (1)	澤崎 明治 (1)	澤崎 明治 (1)	澤崎 明治 (研) 森 元之
井 上 書 院	関谷 勉 (研)	関谷 勉 (研)	大橋 俊彦		
オ ー ム 社	佐藤 政次 ※(1)● 榑田 義則	佐藤 政次 ※(1)● 榑田 義則	竹生 修己 ※(1)● 榑田 義則	竹生 修己 ※(1)● 榑田 義則	竹生 修己 ※(1)● 榑田 義則
海 文 堂 出 版	岡田 吉弘 (総) 富山 臣人	岡田 吉弘 (総) 富山 臣人	岡田 吉弘 (2) 富山 臣人	岡田 節夫 (2) 富山 臣人	岡田 節夫 (2)◎ 富山 臣人
カ ッ ト シ ス テ ム					
技 報 堂 出 版	長 滋彦 (研)◎ 伊藤 大樹	長 滋彦 (研)◎ 伊藤 大樹	長 滋彦 (研) 佐藤 大介	長 滋彦 (研) 佐藤 大介	長 滋彦 ※(研) 長 範彦
共 立 出 版	南條 光章 ※(2)● 岩下 孝男	南條 光章 ※(2)● 岩下 孝男	南條 光章 ※(2)● 岩下 孝男	南條 光章 ※(2)● 岩下 孝男	南條 光章 ※(2)● 加藤 敏博
工 学 図 書	笠原 隆 (研)	笠原 隆 (研)	笠原 隆 (研)	笠原 隆 (研)	笠原 隆 (経) 笠原 隆
工 業 調 査 会	新谷 滋記 ※(研)● 高城 献	新谷 滋記 ※(研)● 高城 献			
コ ロ ナ 社	牛来 真也 (目)◎ 森岡 正晃	牛来 真也 (目)◎ 森岡 正晃	牛来 真也 (目) 山本 岳夫	牛来 真也 (目) 山本 岳夫	牛来 真也 (目) 山本 岳夫
三 共 出 版	秀島 功 (目) 野口 昌敬	秀島 功 (目) 野口 昌敬	秀島 功 (目)◎ 野口 昌敬	秀島 功 (目)◎ 野口 昌敬	秀島 功 (目)◎ 野口 昌敬
産 業 図 書	飯塚 尚彦 (1) 飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 (1) 飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 (研) 飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 (研) 飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 (研) 飯塚 尚彦
省エネルギーセンター	奥村 和夫 (目) 山川 三世	奥村 和夫 (目) 有働 紳也	奥村 和夫 (目) 有働 紳也	奥村 和夫 (目) 有働 紳也	奥村 和夫 (目) 有働 紳也
装 華 房	吉野 和浩 (1) 國分 利幸	吉野 和浩 (1) 國分 利幸	吉野 和浩 (1) 國分 利幸	吉野 和浩 (1) 國分 利幸	吉野 和浩 (1)◎ 國分 利幸
昭 晃 堂	阿井 國昭 (総) 小林 孝雄	阿井 國昭 (総) 小林 孝雄	阿井 國昭 (総) 小林 孝雄	阿井 國昭 (総) 小林 孝雄	阿井 國昭 (総) 小林 孝雄
彰 国 社	後藤 武 (目) 下出 雅徳	後藤 武 (目) 下出 雅徳	後藤 武 (目) 原 敏真	後藤 武 (目) 原 敏真	後藤 武 (2) 鈴木 洋美
実 教 出 版	島根 正幸 (1)◎ 小林 祥浩	島根 正幸 (1)◎ 小林 祥浩	戸塚 雄武 (1)◎ 小林 祥浩	戸塚 雄武 (1)◎ 小林 祥浩	戸塚 雄武 ※(研)◎ 小林 祥浩
誠 文 堂 新 光 社	小川 雄一 (2) 森 貴行	小川 雄一 (2) 森 貴行	小川 雄一 (2)◎ 森 貴行	小川 雄一 (2)◎ 森 貴行	小川 雄一 (1) 山本 建
東京大学出版会	山口 雅己 ※(目)● 吉田 健司	山口 雅己 ※(目)● 吉田 健司	山口 雅己 ※(目)● 吉田 健司	山口 雅己 ※(目)● 吉田 健司	山口 雅己 ※(目)● 吉田 健司
東京電機大学出版局	植村 八潮 (2)◎ 石平 晋一郎	植村 八潮 (2)◎ 石平 晋一郎	植村 八潮 (2) 高橋 章夫	植村 八潮 (2) 高橋 章夫	植村 八潮 (2) 脇 英世 菊地 雅之
日 科 技 連 出 版 社	田中 健 (2) 佐々木 鉄郎				
日 刊 工 業 新 聞 社	渡部 明浩 (2) 山野辺 洋一	渡部 明浩 (2) 山野辺 洋一	黒岡 博明 ※(研)● 山野辺 洋一	黒岡 博明 ※(研)● 山野辺 洋一	奥村 功 ※(研)● 山野辺 洋一
パ ワ ー 社	原田 守 (研) 原田 守	原田 守 (研) 原田 守	原田 守 (研) 原田 守	原田 守 (研) 原田 守	原田 守 (経) 原田 守
丸 善 出 版	吉田 明彦 ※(総)● 二村 忠彰	吉田 明彦 ※(総)● 二村 忠彰	吉田 明彦 ※(総)● 二村 忠彰	吉田 明彦 ※(総)● 二村 忠彰	池田 和博 ※(総)● 二村 忠彰
森 北 出 版	森北 肇 (総) 遠藤 一良	森北 肇 (総) 遠藤 一良	森北 肇 (総) 遠藤 一良	森北 肇 (総) 遠藤 一良	森北 肇 (1) 中村 哲
理 工 図 書	柴山 斐呂子 (総)◎ 山田 久男	柴山 斐呂子 (総)◎ 山田 久男	柴山 斐呂子 (総)◎ 山田 久男	柴山 斐呂子 (総)◎ 山田 久男	柴山 斐呂子 (総)◎ 山田 久男
	第三販売委員会を研修委員会に変更 第四販売委員会は廃止				

	H26	H27	H28	H29	H30
幹事長	(経)● 竹生 修己	(経)● 飯塚 尚彦	(経)● 飯塚 尚彦	(経)● 飯塚 尚彦	(経)● 飯塚 尚彦
副幹事長	(経)◎ 飯塚 尚彦	(経)◎ 村上 和夫	(経)◎ 村上 和夫	(経)◎ 村上 和夫	(経)◎ 村上 和夫
相談役	南條 光章	南條 光章	南條 光章	南條 光章	南條 光章
会計監事	秀島 功 池田 和博	秀島 功 池田 和博	秀島 功 池田 和博	秀島 功 池田 和博	秀島 功 池田 和博
アグネ承風社					
市ヶ谷出版	澤崎 明治 (研)	澤崎 明治 (総)◎ 森 元之	澤崎 明治 (総)◎ 森 元之	澤崎 明治 (総)◎ 森 元之	澤崎 明治 (総)◎ 森 元之
井上書院					
オーム社	※(1)● 竹生 修己 梅田 義則	※(総)● 村上 和夫 春山 宣夫	※(総)● 村上 和夫 春山 宣夫	※(目)● 村上 和夫 鴉田 幸貴	※(目)● 村上 和夫 鴉田 幸貴
海文堂出版	岡田 節夫 (2)◎ 富山 臣人	岡田 節夫 (販) 渡邊 元基	岡田 節夫 (販) 渡邊 元基	岡田 節夫 (販) 渡邊 元基	岡田 節夫 (販) 渡邊 元基
カットシステム			(販) 石塚 勝敏	(目) 石塚 勝敏	(目) 石塚 勝敏 小堤 義夫
技報堂出版	※(研) 長 滋彦 長 範彦				
共立出版	※(2)● 南條 光章 加藤 敏博	※(販)● 南條 光章 加藤 敏博	※(販)● 南條 光章 加藤 敏博	※(販)◎ 南條 光章 木村 邦光	※(販)◎ 南條 光章 木村 邦光
工学図書	笠原 隆 (経)				
工業調査会					
コロナ社	牛来 真也 (目) 山本 岳夫	牛来 真也 (販) 山本 岳夫	牛来 真也 (販) 山本 岳夫	牛来 真也 (販) 山本 岳夫	牛来 真也 (販) 山本 岳夫
三共出版	秀島 功 (目)◎ 野口 昌敬	秀島 功 (目)◎ 野口 昌敬	秀島 功 (目)◎ 野口 昌敬	秀島 功 (総) 野口 昌敬	秀島 功 (総) 野口 昌敬
産業図書	飯塚 尚彦 (研) 飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 飯塚 尚彦	飯塚 尚彦 (販) 松山 絵里子	飯塚 尚彦 (販) 松山 絵里子
省エネルギーセンター	奥村 和夫 (目) 有働 紳也	奥村 和夫 (総) 小山田 明弘	奥村 和夫 (総) 小山田 明弘	奥村 和夫 (総) 細井 聡	奥村 和夫 (総) 細井 聡
菱華房	吉野 和浩 (1)◎ 國分 利幸				
昭晃堂					
彰国社	後藤 武 (2) 鈴木 洋美	後藤 武 (目) 鈴木 洋美	後藤 武 (目) 鈴木 洋美	後藤 武 (目)◎ 鈴木 洋美	後藤 武 (目)◎ 鈴木 洋美
実教出版	戸塚 雄武 ※(研)◎ 小林 祥浩	戸塚 雄武 ※(販)◎ 北川 千晃	戸塚 雄武 ※(販)◎ 北川 千晃	戸塚 雄武 (販)◎ 北川 千晃	戸塚 雄武 (販)◎ 北川 千晃
誠文堂新光社	小川 雄一 (1) 山本 建	小川 雄一 (販) 山本 建	小川 雄一 (販) 山本 建	小川 雄一 (販) 山本 建	小川 雄一 (販) 山本 建
東京大学出版会	黒田 拓也 ※(目)● 吉田 健司				
東京電機大学出版局	脇 英世 (2) 高橋 章夫	脇 英世 (販) 石平 晋一郎	脇 英世 (販) 石平 晋一郎	脇 英世 (販) 石平 晋一郎	脇 英世 (販) 石平 晋一郎
日科技連出版社					
日刊工業新聞社	奥村 功 ※(研)● 山野辺 洋一	奥村 功 ※(目)● 山野辺 洋一	奥村 功 ※(目)● 山野辺 洋一	奥村 功 ※(総)● 山野辺 洋一	奥村 功 ※(総)● 山野辺 洋一
パワース社					
丸善出版	池田 和博 ※(総)● 二村 忠彰	池田 和博 ※(販)◎ 二村 忠彰	池田 和博 ※(販)◎ 二村 忠彰	池田 和博 ※(販)● 二村 忠彰	池田 和博 ※(販)● 二村 忠彰
森北出版					
理工図書	柴山 斐呂子 (総)◎ 山田 久男	(総) 谷内 宏之	(総) 谷内 宏之	(総) 谷内 宏之	(総) 谷内 宏之
		第一・第二販売委員会を 販売委員会と統合 総務委員会と研修委員 会を、総務・研修委員会に統 合			

工学書協会会則

〈組 織〉

第1条 本会は工学書協会と称す。

第2条 本会の事務局を東京都に置く。

第3条 本会は理工学書を主たる出版物とする出版社（以下会員と称す）で、本会の主旨に賛同するものを以て組織する。

〈目 的〉

第4条 本会は理工学書の円滑なる流通を促進し、販売の向上と情報の交換を図ると共に会員相互間の親睦を深め、以て出版文化に貢献することを目的とする。

〈事 業〉

第5条 本会は前条の目的達成のために次の事業を行う。

1. 有力取次店と提携し、常備協力店選定による合理的販売の実施。

2. 流通ならびに取引き上の問題に対する改善、改革と販売向上のための具体策の調査・研究。

3. 月刊「理工学図書ニュース」「部門別工学書目録」ならびに「全国常備協力店名簿」等の発行。

4. 出版ならびに販売技術向上のための調査、研究等を行う。

5. その他本会の目的達成に必要な事業。

〈入 会〉

第6条 入会希望者の資格は理工学書を100点以上有する者で、本会の主旨に賛同し、協会の方針に協調できるものでなくてはならない。

第7条 1. 本会に入会しようとする者は、会員2者以上の推薦による入会申込書を提出するものとする。

2. これにより幹事会の審議の上、適切と認めた場合は例会に計り承認を得なければならない。

〈入会金・会費〉

第8条 本会の入会金は30万円とする。

第9条 本会の会費は月額1万円とし、年2回（1月、7月）に分割納入する。一旦納付した入会金および会費は事由の如何にかかわらず返還しない。

〈退 会〉

第10条 本会の会員であって次の事項に該当するのは例会の決議により退会者とみなす。

1. 会員より文書で申し出があったとき。

2. 出版、販売の業務を中止したとき。

3. 会費を1ヵ年以上滞納し、督促におよぶも納付しないとき。

4. 理由なくして6ヵ月以上にわたり例会に欠席したとき。

〈除 名〉

第11条 会員としての業務に違反し、または決定事項にたいして非協力的であり、あるいは協会の体面を汚すような行為があったときは、総会の議決によりこれを除名することができる。

〈役 員〉

第12条 本会は次の役員を置くことができる。

1. 幹事長 1名

2. 副幹事長 2名

3. 会計監事 2名

4. 幹事 若干名

第13条 幹事長及び会計監事は幹事会で代表者の中から候補者を推薦し、総会で承認を得る。副幹事長は幹事長の推薦で決める。

第14条 幹事長は本会を代表し、会務を総理する。

第15条 副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長事故あるときは、その職務を代行する。

第16条 会計監事は決算事項の監査認証を行い総会に提示する。

第17条 幹事は例会出席登録者の中から1月例会で推挙し、総会で承認を得る。

第18条 幹事は幹事会を組織し、幹事長を補佐して会務を運営する。

第19条 1. 幹事長の任期は2年とする。ただし再選は妨げないが3期6年以内とする。

2. 副幹事長、会計監事、幹事の任期は2年とし再選は妨げない。

3. 幹事欠員の補充は幹事会で協議決定する。

4. 役員は任期満了後でも、後任者が就任するまではその職務を行う。

第20条 本会には相談役を置くことができる。

相談役は重要事項について幹事長および幹事会の諮問に答える。

相談役は本会の会員で本会のため長年にわたり尽力した者の中から幹事会の推薦により幹事長が委嘱し、任期は2年とする。

第21条 本会には職員および嘱託を置くことができる。

〈会 議〉

第22条 本会の会議は総会、代表者会、幹事会、例会とし、議長はいずれも幹事長がこれに当たる。

第23条 1. 総会は会員の代表者および例会出席者で構成する。

2. 総会は原則として毎年1回2月に開催する。なお必要に応じて臨時総会を開くことができる。

3. 下記の事項は総会において決議・承認する。予算、決算、会則の変更、会員の除名、幹事長、幹事並びに会計監事の承認。

第24条 1. 代表者は会員を代表する者で構成し、やむを得ない場合はこれに準ずる者とする。

2. 代表者は必要に応じ幹事長の招集で開くことができ、協会活動全般について理解と協力を得るために行う。

第25条 1. 幹事会は幹事長の招集によりこれを開催する。

2. 幹事会は幹事長を補佐し本会の運営上必要な各種事項について協議決定する。

3. その他本会の運営に必要あるときは各種委員会、研究会等を設置することができる。委員の任命は幹事長が指名する。

第26条 1. 例会は会員の販売責任者で構成し、やむを得ない場合はこれに準ずる者とする。ただし、一社複数の出席は妨げない。

2. 例会は原則として毎月1回開催し、会員相互の連絡、協議の場とする。必要に応じ総会決議事項以

外の事項について決議することができる。

第27条 出席者の登録は所定の書式をもって行い、これの変更あるときは予め文書をもって提出する。

〈議 決〉

第28条 例会または総会において決議事項あるときは、会員の過半数以上の出席を要し、議事は出席者の過半数を以て決定する。

第29条 議決は1社1票とし、出席者が行使する票が賛否同数のときは幹事長が決裁する。

〈会 計〉

第30条 本会の経費は会費、入会金および事業に伴う収益金を以てこれに充当する。

第31条 本会の会計年度は毎年1月1日より同年12月31日とする。

〈付 則〉

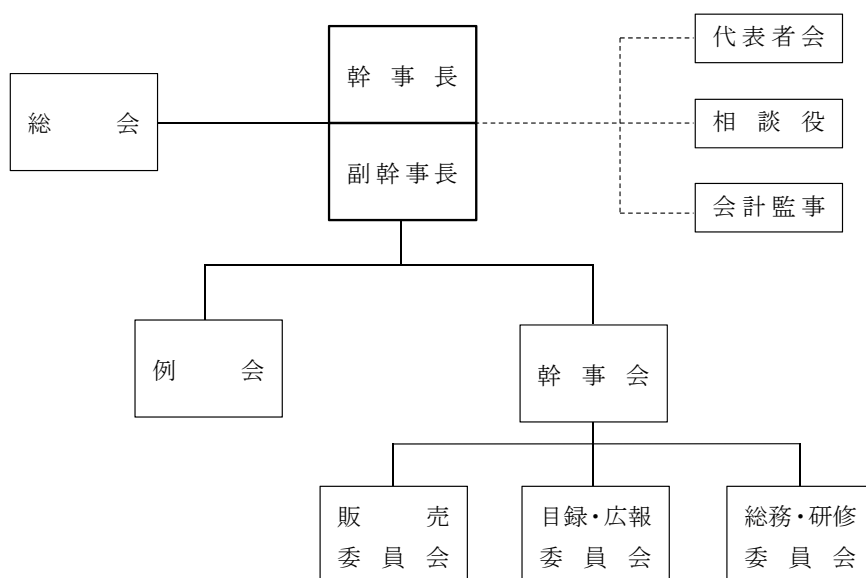
第32条 会員は退会または除名といえども本会の資産に対し、何らの請求権も有しない。

第33条 本会は会員4分の3以上の同意を得なければ解散することができない。

第34条 本会の解散に伴う残余財産は幹事会の議決を経て総会の承認を受けてこれを処分する。

第35条 本会則（改正）は平成8年11月18日からこれを施行する。

組 織 図



(1) 委員会には会員社全員がどこかに参加する。委員長は幹事が分担する。

会員社紹介（五十音順）

- 代表者名
- 工学書協会担当者名
- 社歴・特色・モットーなど
- 出版分野
- 主な出版物



株式会社 市ヶ谷出版社

〒102-0076 東京都千代田区五番町 5

電話 03-3265-3711 FAX03-3265-4008 <http://www.ichigayashuppan.co.jp>

■代表者 澤崎 明治

■協会担当者 森 元之

■社歴・特色・モットーなど 当社は、1949年（昭和24年）に実教出版株式会社の傍系会社として設立された。現在は建築・都市・土木系の大学、専修学校の教科書を中心に、実務書・資格試験書などを出版し、大取次経由で全国の書店で販売している。

当社は、企画・編修の段階で、多くの時間を費やし、ていねいな本づくりを行っているので、新刊の発行点数としては少ない。しかし、既刊本のメンテナンスには、特に力を注ぎ、堅実な出版社として多くの学校・教育機関そして読者から評価をいただいている。

■出版分野 建築・都市・土木（専門教科書・実務書・資格試験書）

■主な出版物 建築史、建築構法、建築計画、建築材料、建築設備、建築環境工学、初学者の建築講座シリーズ、日本建築シリーズ、建築実務テキストシリーズ、建築関係受験用要点テキスト・問題集（2級建築士・管工事施工管理技士・建築施工管理技士）
土木関係受験用要点テキスト・問題集（土木施工管理技士・測量士補）、その他



株式会社 オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町 3-1

電話 03-3233-0641 FAX03-3233-3440 <https://www.ohmsha.co.jp/>

■代表者 村上 和夫

■協会担当者 鴫田 幸貴

■社歴・特色・モットーなど 創業（1914年）以来、理工学全分野の書籍および雑誌を発行。書籍は、教科書、技術専門書、英文を含む学術専門書から一般書、実用書、電気工事士および電験等の資格試験参考書や、「マンガでわかる」シリーズにいたる多彩な単行本を刊行。雑誌は『OHM』『新電気』『電気と工事』『設備と管理』の月刊4誌を発行。オーム社発行以外にも、多くの学会や協会、オライリー・ジャパンなどの書籍販売などを行っている。

■出版分野 電気電子・情報処理・建築土木・機械・環境科学・理学・生命科学・医学・看護学

■主な出版物 絵ときシリーズ、絵ときでわかるシリーズ、マンガでわかるシリーズ、マスタリングTCP/IPシリーズ、大学課程シリーズ、大学土木シリーズ、OHM大学テキストシリーズ、放射線技術学シリーズ／法令集各種／資格試験対策書：電気工事士、電験、ビル管、消防設備士など多数。



海文堂出版 株式会社

〒112-0005 東京都文京区水道 2-5-4

電話 03-3815-3291 FAX03-3815-3953 <http://www.kaibundo.jp/>

■代表者 岡田 雄希

■協会担当者 渡邊 元基

■社歴・特色・モットーなど 1914年の創業以来、航海、海運、造船を中心とする海事分野で、実務書から読み物に至る書籍を出版。創業当初から「わが社の信条：われわれはよい書籍を出版しよう。でき得れば利益を得たいが、やむをえなければ損をしてもよい。しかし、常により書籍の発行を念願としよう。出版の文化的使命は重い。」に拠って立ち、社会の変化に積極的に対応する出版活動を目指し、感性工学、ヒューマンエラーなど新分野である理工系専門書を幅広く出版している。

■出版分野 海事工学、海事読み物、水産、理工系専門書

■主な出版物 現行海事法令集、海事六法、海技試験問題集、図説海上衝突予防法、図説海上交通安全法、図説港則法、海洋汚染防止条約、海上人命安全条約、危険物船舶運送及び貯蔵規則、北水ブックス

言語聴覚士の音響学入門、ヒューマンエラー、JMPによる多変量データ活用術



株式会社 カットシステム

〒169-0073 東京都新宿区百人町 4-9-7 新宿ユーエストビル 8F

電話 03-5348-3850 FAX03-5348-3851 <http://www.cutt.co.jp/>

■代表者 石塚 勝敏

■協会担当者 小堤 義夫

■社歴・特色・モットーなど 1974年創業。1984年に法人改組。1985年に研究機関を経由して JUNET (Internet の前身) に接続。自由闊達をモットーに最新技術関連の書籍を発行。

■出版分野 コンピュータサイエンス・電気電子工学・統計学・理学

■主な出版物 『14日で作る量子コンピュータ』『組込み OS 自作入門』『GraphPad Prism 7 による生物統計学入門』『Fusion360 操作ガイド』『Windows インフラ管理者入門』『統計解析ソフト「SAS」』『Python で始める OpenCV 4 プログラミング』、情報演習ステップ 30 シリーズ、留学生のためのワークブックシリーズ



共立出版 株式会社

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-6-19

電話 03-3947-2511 FAX03-3947-2539 <https://www.kyoritsu-pub.co.jp/>

■代表者 南條 光章

■協会担当者 木村 邦光

■社歴・特色・モットーなど 1926年に共立社書店として創業。1927年より出版業を営み、1942年に共立出版株式会社へと社名を変更しました。理工学書の発行を中心に、“自然科学書のリーディングカンパニー”を目指して歩み続けております。出版活動を通して、科学・技術の発展に貢献したいと考えております。読者に喜んでいただける出版物を発行してまいります。

■出版分野 数学、物理、化学、地球科学、生物、情報・コンピュータ、機械、土木、建築、電気・電子、経営工学

■主な出版物 共立講座「数学探検」・「数学の魅力」・「数学の輝き」、人工知能学大事典、プログラミング言語 C、現場必携建築構造ポケットブック、機械学習の数理 100 問シリーズ



株式会社 コロナ社

〒112-0011 東京都文京区千石 4-46-10

電話 03-3941-3131 FAX03-3941-3137 <https://www.coronasha.co.jp>

■代表者 牛来 真也

■協会担当者 山本 岳夫

■社歴・特色・モットーなど コロナ社は昭和2年に、牛来丈助によって創立され、主として電気工学系の書籍および海外名著の翻訳出版から発足しました。社名のコロナは、太陽の周縁から放射される“コロナ”現象から採ったもので、電気工学研究の精華を顕さんとしたものです。

その後、社会の進展・多様化に伴い、電気工学のみならず電子・情報工学および機械、土木、建築、バイオテクノロジー、医用工学など、工学のあらゆる部門に進出しました。

■出版分野 電気電子、情報、機械、計測・制御、土木、環境、生命、医用工学、経営工学、数学、物理、化学、農学、科学一般

■主な出版物 安全工学便覧（第4版）、農業食料工学ハンドブック、電子情報通信レクチャーシリーズ、土木・環境系コアテキストシリーズ、音響サイエンスシリーズ、自然言語処理シリーズ、システム制御工学シリーズ、新塑性加工技術シリーズ、シリーズ21世紀のエネルギー



三共出版 株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2

電話 03-3264-5711 FAX03-3265-5149 <https://www.sankyoshuppan.co.jp/>

■代表者 秀島 功

■協会担当者 野口 昌敬

■社歴・特色・モットーなど 昭和22年の創業以来、化学関連の書籍を専門に刊行。近年は科学技術の進歩とともに材料科学や、社会問題化している環境関連の書籍も積極的に手掛けている。更にはバイオ・生命科学系の出版にも注力している。

これらの出版活動を通して文化の発展向上に寄与したいと考えている。

■出版分野 化学・環境・生命科学・生活科学・科学一般等

■主な出版物 フロンティア機能高分子金属錯体、フロンティア生物無機化学、これから学ぶ酵素科学、結晶構造精密化 SHELXL の使い方、新版 はじめての電子状態計算、量子材料化学の基礎、新版 新しい触媒化学、エッセンス！フレーバー・フレグランス



産業図書 株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-3

電話 03-3261-7821 FAX03-3239-2178 <http://www.san-to.co.jp>

■代表者 飯塚 尚彦

■協会担当者 松山 絵里子

■社歴・特色・モットーなど 倉橋藤治郎が工政会出版部を発足させ、昭和10年に工業図書株式会社に発展させた。創業以来、理工学書を中心に出版を手がけてきたが、現在は人文・社会科学分野にも展開している。

■出版分野 人文科学、社会科学、科学一般、理学、工学など

■主な出版物 脳はいかにして心を創るのか、心の発見、モナドの窓、流れとよどみ、論理トレーニング、論理トレーニング101題、哲学と自然の鏡、形式論理学、生命倫理学入門、実体への旅、ジハード、テロと殉教、科学が作られているとき、腐食反応とその制御、航空力学の基礎、エンジン、半導体デバイス、現代制御工学、生物反応工学



株式会社 彰国社

〒162-0067 東京都新宿区富久町 8-21 T & Tビル

電話 03-3359-3231(大代表) FAX03-3357-3961 <https://www.shokokusha.co.jp/>

■代表者 後藤 武

■協会担当者 藤田 健介

■社歴・特色・モットーなど 1932(昭和7)年6月下出源七により創立、1965(昭和40)年株式会社に改組。戦前は主に国宝などの文化財建造物関係書を出版、戦後は現代建築分野に企画を拡大、今日まで雑誌3誌の発刊をはじめ、全集・叢書や辞事典類などの重要出版物を含め3,000点余を刊行、多数の建築家や研究者、技術者を育み、斯界の発展に寄与してきた。現在も鋭意出版活動を展開し、あすの居住環境の創造を担うわが国を代表する専門出版社として絶大な信頼と期待を寄せられている。

■出版分野 建築、土木、資格試験など

■主な出版物 建築大辞典(第2版)・建築英語事典・建築ヴィジュアル辞典・建築論事典など20数点に及ぶ辞事典類、建築ディテール集成・作家別ディテール集などの設計詳細図集、建築文化シナジーやゼロからはじめる・・・などの若手建築家向けシリーズ、一般読者向けの折り紙建築シリーズなど。
季刊『ディテール』



実教出版 株式会社

〒102-8377 東京都千代田区五番町 5

電話 03-3238-7766 FAX03-3238-7770 <http://www.jikkyo.co.jp/>

■代表者 小田 良次

■協会担当者 北川 千晃

■社歴・特色・モットーなど 小社は、1941(昭和16)年の創立以来、高等学校教科書・教材を柱とし、教育現場において極めて重要な使命を担ってきました。大学・短期大学・専門学校向けの専門図書もその出版理念は、科学や技術・技法の基礎を広めるものを中心とし、現代的な知性と感性を養うことに資するような出版物の創造にあります。長年にわたり培われたノウハウをもとに学習効果の高い出版物の企画・刊行をしております。

■出版分野 高等学校検定教科書全般、理工学図書、情報図書、商経図書、教育図書

■主な出版物 新版数学シリーズ、技術者倫理、あなたのまわりのデータの不思議、入門C言語、情報セキュリティ読本、First Stage(機械・電気・建築・土木)、専門基礎ライブラリー(物理・化学・機械・電気・電子)、Professional Engineer Library(化学・機械・土木)、電気・電子製図、建築製図ほか



株式会社 電気書院

(2020年1月入会)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3 ミヤタビル 2F

電話 03-5259-9160 FAX03-5259-9162 <https://www.denkishoin.co.jp/>

■代表者 田中 聡

■協会担当者 荻野 賢治

■社歴・特色・モットーなど 「出版を通じて知識を継承する」をモットーに、1933年の創業以来、技術や知識の継承を支援し、また理工学を学ぶ方の一助となるべく様々な媒体を用いて情報を発信しております。また、そこに係る情報は、読み手の視点を意識し、丁寧かつ正確であることを信条としております。人なくして社会は成り立ちません。社会を支えてくれる全ての皆様のために、我々は常に柔軟な発想と新しい視点を養い、開発努力を怠ることなく、直往邁進してまいります。

■出版分野 電気電子工学・機械・情報・土木・環境・エネルギー・理学・福祉

■主な出版物 月刊誌：電気計算。資格参考書：電気主任技術者(電験)・電気工事士・冷凍機械、ビル管理士、消防設備士、危険物取扱者など。理工学専門書。技術解説書。



株式会社 誠文堂新光社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-3-11

電話 03-5800-5780 FAX03-5800-5781 <https://www.seibundo-shinkosha.net/>

■代表者 小川 雄一

■協会担当者 山本 建

■社歴・特色・モットーなど 明治45年(1912年)創業。単行本で基礎を築いた後、雑誌「子供の科学」「無線と実験」などを創刊。

社会の成長・発展を支える「科学・技術」、幸福感のある人生の基盤である「生活・文化」、出版を中心とした多角的な活動を通じてこれらを支援し、社会貢献を果たします。

豊かな社会で充実した人生を送る。どんなに時代が変わっても、その実現のための情報発信と事業による支援が、今までもこれからも変わらない、弊社の役割です。

■出版分野 理工学、自然科学、人文・社会科学、農園芸、デザイン、趣味・実用など

■主な出版物 「無線と実験」、「子供の科学」、「農耕と園芸」、「天文年鑑」、「アイデア」、「月刊天文ガイド」、「フローリスト」



東京電機大学出版局

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

電話 03-5284-5386 FAX03-5284-5387 <https://www.tdupress.jp/>

■代表者 田丸 健一郎

■協会担当者 石平 晋一郎

■社歴・特色・モットーなど 小局は明治40年、東京電機大学の前身である私立電機学校の創立と同時に誕生した。以来、唯一の理工系大学出版として、学術書・教科書・啓蒙書等を中心に刊行、既刊発行点数は2,700余点を数える。これからも「科学技術と教育を出版からサポートする」をキャッチフレーズに、次世代の科学技術を担う想像力と意欲に満ち溢れた読者を積極的に支援していきたいと考えている。

■出版分野 工学、理学、情報、科学一般、資格試験、文部科学省教科書ほか

■主な出版物 【主なシリーズ】理工学講座、わかりやすい機械教室、計算法(電気・機械・化学)、初めて学ぶ、はじめての、たのしくできる、学生のための、デザインマネジメント【資格試験】電気主任技術者、電気工事士、無線(陸上・航空)、情報処理



株式会社 日刊工業新聞社

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

電話 03-5644-7410 FAX03-5644-7400 <https://pub.nikkan.co.jp/>

■代表者 奥村 功

■協会担当者 山野辺 洋一

■社歴・特色・モットーなど 出版部門は1931年の「全国工場通覧」の発行をスタートとし、1953年に月刊技術雑誌「機械技術」「マテリアル」(現「工業材料」)の創刊で本格的に出版活動に入る。現在では「日刊工業新聞」の読者層をターゲットに、月刊技術雑誌6誌を発行するとともに、工学系の専門書からビジネス書まで幅広いジャンルを揃えた新刊を年間100点前後提供している。

■出版分野 機械、金属、電気・電子、化学、生産管理、コンピュータ、経営、ビジネス

■主な出版物 必携「からくり設計」メカニズム定石集/プラント配管ポケットブック/俯瞰図から見えるIoTで激変する日本型製造業ビジネスモデル/図面って、どない描くねん!/トコトンやさしいゲノム編集の本/メカ屋のための脳科学入門

■定期刊行物 プレス技術、機械設計、工業材料、型技術、工場管理、機械技術



丸善出版 株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17 神田神保町ビル 6 階

電話 03-3512-3256 FAX03-3512-3270 <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

■代表者 池田 和博

■協会担当者 二村 忠彰

■社歴・特色・モットーなど 丸善は、わが国の文化の発展に貢献することを創業の精神に掲げ、1869年にスタートいたしました。出版事業は1876年頃からその歴史を歩みはじめ、2011年に丸善株式会社出版事業部を分社し、丸善出版株式会社として新設。理工学・医学分野においてわが国を代表する便覧、事典、専門書、大学テキスト、映像教材(DVD等)の発行・発売を行っています。近年では、電子書籍や映像配信サービスなどのデジタルコンテンツにも力を注ぎ、幅広い事業を展開しています。

■出版分野 工学(化学工学、土木・建築、機械・金属・材料、電気・電子・情報工学)、理学、医学、薬学、看護、社会科学、人文科学など

■主な出版物 書籍：理科年表、化学便覧、実験化学講座、建築設計資料集成、いかにして問題をとくか、パターン認識と機械学習、など
映像：でんじろう先生のはぴエネ!、最新 基礎看護技術シリーズほか自社商品、BBC(英国放送協会)・放送大学等代理店商品
その他：理科年表プレミアム、化学書資料館、Educational Video Online、HGS分子構造模型



理工図書 株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町 27-2 理工図書ビル 7F

電話 03-3230-0221 FAX03-3262-8247 <https://www.rikohtosho.co.jp/>

■代表者 柴山 斐呂子

■協会担当者 谷内 宏之

■社歴・特色・モットーなど 1899年に「鉄道時報局」を創業。1922年に鉄道時報局内に「シビル社」を設立し月刊土木建築雑誌刊行、これが現在の「土木技術」となる。その後1944年に企業整備令により、時刻表の出版権を現JTに譲渡し、数社を買収して社名を「株式会社鉄道時報局」から「理工図書株式会社」と改めた。良い書籍を作り世の中の役に立ちたいという経営方針の下に建築、土木を中心に物理、電気電子、家政学、医学療養学等も出版している。

■出版分野 建築、土木、機械、電気、物理、化学、数学、生物学、農学、一般教養、栄養管理士、他

■主な出版物 続・擁壁の設計法と計算例、目からウロコの確認申請、建築計画を学ぶ、趣味で物理学、趣味で相対論、新編水理学、基礎からわかるリモートセンシング、管理栄養士養成課程教科書シリーズ、メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ、(月刊誌)「土木技術」

工学書協会 70 年史編纂委員会

(60 年史追録版)

目録広報委員会 鶴田 幸貴 (オーム社)
小堤 義夫 (カットシステム)
松山 絵里子 (産業図書)
藤田 健介 (彰国社)
工学書協会幹事 森 元之 (市ヶ谷出版)
木村 邦光 (共立出版)
山野辺 洋一 (日刊工業新聞社)
二村 忠彰 (丸善出版)

工学書協会 70 年史

(60 年史追録版)

(非売品)

印刷 2020 年 10 月 1 日 ©2020 工学書協会
発行 2020 年 10 月 5 日

編集 工学書協会 70 年史編纂委員会

発行 工学書協会

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 1-101
神保町 101 ビル 3 階
電話 03 (5577) 6670
FAX 03 (5577) 6850

印刷 錦明印刷株式会社